

# 小規模企業の景況

(2023年1～3月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2023年1～3月期の結果概要は以下の通り。今期(2023年1～3月期、調査基準日:3月1日)の業況判断DIは▲25.0と前回調査から8.4ポイントの悪化となった。売上額DI値は▲13.5(前回調査から3.2ポイント悪化)、資金繰りDI値は▲20.5(前回調査から0.5ポイント悪化)、従業員過不足DI値は▲13.2(前回調査からマイナス0.1)となった。「経営上の問題点」では、「原材料価格の上昇」が製造業で6期連続となったほか、「仕入単価の上昇」が卸売業で4期連続、小売業でも3期連続の第1位となった。サービス業では7期連続で「需要の停滞」が第1位となったほか、「材料等仕入単価の上昇」が第1位に浮上した。

## 1. 今期(2023年1～3月期)の状況

**【売上額】**今期(2023年1～3月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2022年10～12月期の▲10.3)から3.2ポイント悪化し、▲13.5となった。業種別では前回調査から、製造業が11.7ポイント、卸売業が5.0ポイント、小売業が1.2ポイント悪化し、サービス業が4.8ポイント改善した。

**【資金繰り】**今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲20.0)から0.5ポイント悪化し、▲20.5となった。業種別では前回調査から、卸売業が4.6ポイント改善したが、製造業が2.6ポイント、小売業が1.1ポイント、サービス業が1.8ポイントそれぞれ悪化した。

**【業況判断】**今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲16.6)から8.4ポイント悪化し、▲25.0となった。業種別では前回調査から、製造業が7.8ポイント、卸売業が11.8ポイント、小売業が5.5ポイント、サービス業が9.0ポイントそれぞれ悪化した。

**【従業員数過不足】**今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲13.1)から0.1ポイント悪化し、▲13.2となった。業種別では前回調査から、製造業が5.2ポイント、小売業が1.6ポイント改善し、卸売業が3.3ポイント、サービス業が4.1ポイント悪化した。

## 2. 来期(2023年4～6月期)の予想

来期(2023年4～6月期)の全産業の予想DIは、売上額▲3.1、資金繰り▲17.7、業況判断▲17.0となった。

## 3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」、卸売業と小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「需要の停滞」と「材料等仕入単価の上昇」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2022年1～3月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

## 【調査の概要】

- ・調査名：第171回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
  - ・調査時期：2023年2月16日～3月1日（前回：2022年11月2日～11月15日）
  - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
  - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
    - ※ 全国7,905件中、大阪商工会議所分324件。
    - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）288件について取りまとめた。
- 〔製造業77件、卸売業61件、小売業70件、サービス業80件〕

## ■DI推移（全産業）

	168回調査	169回調査	170回調査 (前回)		171回調査 (今回)	
	2022年(R4) 4～6月期	2022年(R4) 7～9月期	2022年(R4) 10～12月期	2023年(R5) 1～3月期	2023年(R5) 1～3月期	2023年(R5) 4～6月期
売上額（増-減）	-11.0	-14.7	-10.3	-10.0	-13.5	-3.1
資金繰り（好-悪）	-16.5	-23.3	-20.0	-18.6	-20.5	-17.7
業況（好-悪）	-19.6	-25.7	-16.6	-19.7	-25.0	-17.0
従業員（過-不）	-13.4	-12.0	-13.1		-13.2	

## ■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 →	33 (30)	仕入単価の上昇 →	25 (28)	仕入単価の上昇 →	25 (22)	需要の停滞 → 材料等仕入単価の上昇 ↑	14 (12) 14 (10)
2位	需要の停滞 →	12 (16)	需要の停滞 →	13 (8)	消費者ニーズの変化への対応 →	10 (7)		
3位	製品(加工)単価の低下・上昇難 ↑	7 (5)	小売業の進出による競争の激化 ↑ 人件費以外の経費の増加 ↑ メーカーの進出による競争の激化 ↑	3 (3) 3 (2) 3 (1)	大型店・中型店の進出による競争の激化 ↑	7 (5)	利用者ニーズの変化への対応 ↓	11 (10)

[注]（ ）内は前回（2022年10～12月期）調査結果

↑ = 前回より高順位

→ = 前回と同順位

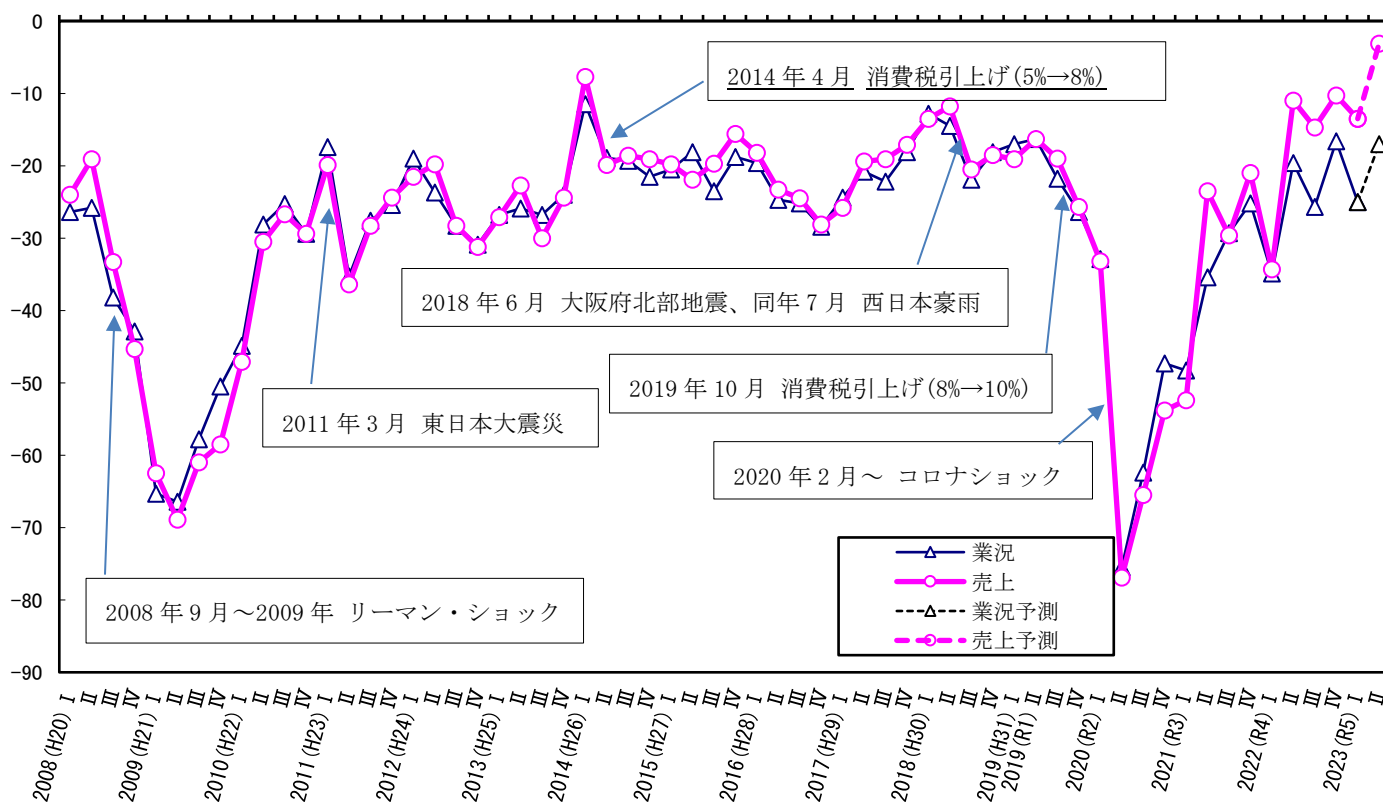
↓ = 前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(1~3月期)				前回(10~12月期)からの推移	来期の予想(4~6月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額										
	製造業	16.9	45.5	37.7	▲ 20.8	▲ 11.7	15.6	59.7	23.4	▲ 7.8
	卸売業	31.1	26.2	42.6	▲ 11.5	▲ 5.0	21.3	45.9	32.8	▲ 11.5
	小売業	28.6	25.7	45.7	▲ 17.1	▲ 1.2	34.3	32.9	32.9	1.4
	サービス業	28.8	37.5	33.8	▲ 5.0	4.8	31.3	40.0	27.5	3.8
	合計	26.0	34.4	39.6	▲ 13.5	▲ 3.2	25.7	44.8	28.8	▲ 3.1
	前回	28.3	33.1	38.6	▲ 10.3		25.2	39.0	35.2	▲ 10.0
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	1.3	80.5	18.2	▲ 16.9	▲ 2.6	0.0	83.1	15.6	▲ 15.6
	卸売業	4.9	75.4	19.7	▲ 14.8	4.6	0.0	80.3	19.7	▲ 19.7
	小売業	5.7	64.3	30.0	▲ 24.3	▲ 1.1	5.7	65.7	28.6	▲ 22.9
	サービス業	5.0	65.0	30.0	▲ 25.0	▲ 1.8	8.8	67.5	22.5	▲ 13.8
	合計	4.2	71.2	24.7	▲ 20.5	▲ 0.5	3.8	74.0	21.5	▲ 17.7
	前回	5.9	67.9	25.9	▲ 20.0		6.2	68.3	24.8	▲ 18.6
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	6.5	57.1	36.4	▲ 29.9	▲ 7.8	7.8	57.1	28.6	▲ 20.8
	卸売業	11.5	45.9	42.6	▲ 31.1	▲ 11.7	6.6	57.4	32.8	▲ 26.2
	小売業	17.1	42.9	40.0	▲ 22.9	▲ 5.5	18.6	51.4	30.0	▲ 11.4
	サービス業	12.5	56.3	30.0	▲ 17.5	▲ 9.0	16.3	56.3	27.5	▲ 11.3
	合計	11.8	51.0	36.8	▲ 25.0	▲ 8.4	12.5	55.6	29.5	▲ 17.0
	前回	16.2	50.7	32.8	▲ 16.6		14.1	47.6	33.8	▲ 19.7
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	0.0	76.6	18.2	▲ 18.2	5.2				
	卸売業	1.6	88.5	6.6	▲ 4.9	▲ 3.3				
	小売業	1.4	68.6	11.4	▲ 10.0	1.6				
	サービス業	2.5	73.8	20.0	▲ 17.5	▲ 4.1				
	合計	1.4	76.4	14.6	▲ 13.2	▲ 0.1				
	前回	3.4	73.8	16.6	▲ 13.1					

「今期の状況（除従業員）」は2023年1~3月期状況であり、前年同期の2022年1~3月期との比較。来期の予想は2023年4~6月期予想であり、2022年4~6月期との比較である。「前回」欄は2022年10~12月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※2023年 I 期予想値